

マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 #30 原作シナリオ

山崎浩治

マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 #30 原作シナリオ

#1 クリスマスマード高まる片町(夜)

#2 「居酒屋まわりみち」店内

忙しそうに仕事しているアヤカ。

店内の客にはサラリーマン連れや同伴出勤らしい美鈴の顔が見える。

サラリーマン風の客A「アヤカちゃん、彼氏いるの？」

アヤカ「(笑顔で)残念ながらいません！」

客A「じゃオレたちと合コンやろうよ」

アヤカ「ごめんなさい。年末はバイトが忙しくて」

客B「(客Aに)またフラれたな！ アヤカちゃんはガード硬いからあきらめろって」

自分たちの会話に戻るサラリーマン連れ。

美鈴「(アヤカに)いつまで喪に服してるつもり？ トオルさんのこと忘れられないのは分かるけど、忘れる努力をすることも大切よ」

アヤカのOFF「トオルさんのこと、忘れられないわけじゃない……」

#3 海に見える墓地(昼)

とある墓石の前に花を供え、手を合わせているアヤカ。

アヤカのOFF「でも思い出す時間が段々減っている。トオルさんのことがどんどん遠くなっていく。ごめんなさい、トオルさん」

手を合わせるアヤカの瞳から涙がこぼれた。

#4 墓地の駐車場

停車した車から花束を手にしたオネエ所長とサオリが降りてくる。

帰っていくアヤカの背中が見える。

#5 犀川緑地(桜橋近く・夕方)

ぼんやり河面を見ているアヤカ。

向こうから祖母を連れたハルオがやってきた。

アヤカ「(気まずそうに)こないだはどうも……」

× ×

フラッシュ。

ハルオを平手打ちしているアヤカ(「第29回」)。

× ×

ハルオ「(屈託なく)しずちゃんが徘徊で保護されちゃって……」

アヤカ「しずちゃん？」

ハルオ「(アヤカに耳打ちし)ばあちゃん、子ども返りしちゃったから『ばあちゃん』って呼ぶと混乱するんだ。しずちゃん、寒いから早くおうちに帰ろう」

祖母の肩を抱き、歩き出すハルオ。

ハルオ「(アヤカに背を向けたまま)杏子さんの嘘の片棒、やめたから」

× ×

フラッシュ。

アヤカ「杏子さんのカレシだなんて嘘でしょ！ どうしてそんな悲しい嘘の片棒担ぐの！」

× ×

去っていくハルオと祖母の後ろ姿。

アヤカ「(見送っている)」

#6 「居酒屋まわりみち」(夜)

アヤカが働いている。店内の客にはオネエ所長、サオリ、菜摘の顔が見える。

オネエ所長「今日はトオルちゃんの月命日。アヤカ、お墓参り行ってくれたのね。覚えていてくれてありがとう」

アヤカ「(悲しそうに俯いて)あたし……薄情なんです。トオルさんのこと、忘れていくんです」
言葉を失う店内の一同。

カウンター席の隅に、トオルが座っている。

トオル「(何か言ったが聞こえない)……」

トオルの隣に座っている菜摘とサオリ。

サオリ「(トオルの言葉に気付いたが、何も言わない)……」

菜摘「謝らなくていいよ、ってトオルちゃんが言ってるよ」

アヤカ「……え」

菜摘「アヤカは今日、トオルちゃんのお墓の前で『ごめんなさい』したんでしょ。だから謝らなくていい、って」

アヤカ「(驚いて)どうしてそれを……」

オネエ所長「(慌てて取り繕って)ごめんねアヤカ！ なっちはカンの鋭いところがあるから……アハハ」

アヤカ「(硬い表情で)……」

#7 「居酒屋まわりみち」表(閉店後)

アヤカ「おやすみなさい！(と出てくる)」

#8 香林坊のメインストリート

クリスマスの幻想的なイルミネーションが輝く通りをアヤカが寂しそうに歩く。

路傍にトオルが立っているが、アヤカは気付かない。

アヤカ「(トオルの前を通り過ぎて)……」

トオル「(見送って)……」

9 アヤカの部屋

窓外を見ているアヤカ。

アヤカのOFF「あたしの声が聞こえているならトオルさん……夢のなかでいいからもう一度会いたい」

窓越しに――夜空から舞い落ちてくる粉雪が見える。

10 粉雪が落ちてきた場所は香林坊東急スクエアの前

クリスマスイブの賑わいのなかに立っているアヤカ。

アヤカ「(周囲を見回して)……あっ」

アヤカのOFF「この光景は……1年前のクリスマスイブ。ここは夢の中……？」

カップルたちの笑顔やイルミネーション――クリスマスの夜の点景。

アヤカのOFF「あの日、トオルさんは待ち合わせの場所にやってこなかった」

× ×

インサート。

救急車の車内から病院救急入口に運ばれるトオル。

× ×

アヤカ「(涙がにじんで)……」

その時、「アヤカちゃん！」とトオルの声がした。

アヤカ「えっ……(顔を上げると)」

人混みをかき分けて現れるトオル。笑顔で手を振っている。

アヤカ「トオルさん！(も笑顔が弾ける)」

駆けてくるトオルがアヤカを力いっぱい抱きしめた。

トオル「遅くなってごめん。待たせたね、アヤカちゃん」

アヤカ「(涙があふれ出し、トオルの胸に顔を埋めた)」

11 アヤカの夢(それはアヤカとトオルにあり得たかもしれない未来)

カフェの一角でクリスマスプレゼントを交換するアヤカとトオル。

石川橋の上でキスしているアヤカとトオル。

やがて――ウェディングドレスを着たアヤカがバージンロードを歩いてくる。

祭壇のところで待っている白いタキシード姿のトオル。

幸せ一杯のアヤカの笑顔。

12 アヤカの部屋(朝)

ベッドで目覚めるアヤカ。室内にはアヤカ以外、誰もいない。

アヤカ「会いに来てくれてありがとう、トオルさん(と号泣)」